

柳町小学校教室等増設に関する整備資格面積

1. 必要面積： $4,927 \text{ m}^2$ (27年5月1日現在推計)・・・①
 $= 3,881 \text{ m}^2 + 187 \text{ m}^2 \times (\text{通常学級 } 14 \text{ 学級} - 12) + 168 \text{ m}^2 \times \text{特支学級 } 4 \text{ 学級}$
2. 保有面積： $3,507 \text{ m}^2$ (25年現在)・・・②
3. 整備資格面積： $1,420 \text{ m}^2$
 $= ① - ② = 4,927 \text{ m}^2 - 3,507 \text{ m}^2$

【学校施設の必要面積の計算方法】 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律・同施行令
 必要面積：当該学校の学級数に応ずる必要面積をいい、小学校の校舎に係る場合は、次の表に掲げる算式により計算した面積

学校の種類	学級数 ^{※1}	面積の計算方法 ^{※2 ※3}
小学校	1学級・2学級	$769 \text{ m}^2 + 279 \text{ m}^2 \times (\text{学級数} - 1)$
	3～5学級	$1,326 \text{ m}^2 + 381 \text{ m}^2 \times (\text{学級数} - 3)$
	6～11学級	$2,468 \text{ m}^2 + 236 \text{ m}^2 \times (\text{学級数} - 6)$
	12～17学級	$3,881 \text{ m}^2 + 187 \text{ m}^2 \times (\text{学級数} - 12)$
	18学級以上	$5,000 \text{ m}^2 + 173 \text{ m}^2 \times (\text{学級数} - 18)$

※1 学級数の算定日…新增築を行う年度の5月1日

※2 多目的教室を設ける小学校にあつては、当該面積に1.108(多目的教室のほかに少人数授業用教室を設ける場合及び多目的教室の全部又は一部が少数の児童により構成される集団を単位として行う授業のための可動式間仕切りその他の整備を有するものである場合には、1.180)を乗じて得た面積

※3 特別支援学級を置く小学校：当該学校の学級数から特別支援学級の数を控除した学級数に応じ、前号の規定の例により計算した面積に、168平方メートルに当該学校の特別支援学級の数を乗じて得た面積を加えた面積

保有面積：当該学校の建物の面積から、「借用面積」、「一時的使用面積」及び「未とりこわし面積」を除き、「国庫負担等未完成面積」を加えたものとする。

整備資格面積：国庫補助の対象となる面積で、必要面積から保有面積を控除したものをいう。

$$\boxed{\text{整備資格面積}} = \boxed{\text{必要面積}} - \boxed{\text{保有面積}}$$